

○令和7年度における御嵩町地球温暖化防止対策実行計画における点検結果について

項目	基準年度（平成25年度）		対象年度（令和7年度）		比較増減	
	使用量（ℓ）	CO2排出量（kg-CO2/年）	使用量（ℓ）	CO2排出量（kg-CO2/年）	使用量（ℓ）	CO2排出量（kg-CO2/年）
公用車（ガソリン）	34,826.23	80,796.85	14,176.31	32,463.75	-20,649.92	-48,333.10
公用車（軽油）	5,480.21	14,358.15	9,526.93	26,590.70	4,046.72	12,232.55
通勤車（ガソリン）	41,401.83	96,052.25	33,960.26	78,787.80	-7,441.57	-17,264.45
通勤車（軽油）	1,174.24	3,076.52	2,222.71	5,645.29	1,048.47	2,568.77
灯油	15,597.11	38,836.80	3,204.00	8,010.00	-12,393.11	-30,826.80
A重油	114,500.00	310,295.00	40,000.00	110,000.00	-74,500.00	-200,295.00

項目	使用量（kwh）	CO2排出量（kg-CO2/年）	使用量（kwh）	CO2排出量（kg-CO2/年）	使用量（kwh）	CO2排出量（kg-CO2/年）
電気	1,122,714.52	579,320.69	965,918.00	173,188.82	-156,796.52	-406,131.87

	基準年度（平成25年度）	対象年度（令和7年度）	増減		
CO2排出量合計	1,122,736.26	434,686.36	-688,049.90	対基準年削減率	61.28%

【令和7年度におけるCO2の排出状況】

年度途中における電力会社の変更により、『RE100 TECHNICAL CRITERIA』の要件を満たす再生可能エネルギー由来の電力供給割合が100%となり、CO2の排出量を大幅に削減することができた。

また、公用車の運用においては、コロナ禍以降、Web研修等が増加したことに伴い、出張等の遠出が減少したことで、ガソリンの使用量が減少しています。

通勤車両については、年明けから職員駐車場としていた役場庁舎東側駐車場を来庁者用に転用したことに伴い、町有地の分散駐車と徒歩の組み合わせによる自動車の通勤距離が縮小されたことや、電車・自転車による通勤に手段が変更となったことで、職員の燃料使用量が削減されたものと考えられます。